

～うきはの“地の利”、“人の利”、“時の利”を伝える～

# 「うきはブランド通信」

U B C ~ukiha brand communication~



平成 30 年 6 月 5 日  
福岡県うきは市



(報道各社への取材の御案内)

「訓練放送です。土砂災害のおそれが高くなったため、避難勧告が発令されました。避難してください。」

## 九州北部豪雨災害から6年を前に、被災地・妹川で「土砂災害避難訓練」

平成 24 年 7 月 13、14 日の九州北部豪雨で甚大な被害を受けたうきは市の山間部妹川地区で、本格的な大雨の時期を前に、土砂災害避難訓練が開催される。地域の防災力の向上と関係機関の連携を図るため、平成 23 年から毎年 6 月に各校区で順次開催されていて、当地区では昨年に続き 2 回目の開催。

※妹川（いもがわ）地区：

筑後川の支流巨瀬川（こせがわ）沿いの山間地で地域のほとんどが土砂災害警戒区域の指定を受ける。

5 集落・150 世帯・440 人・高齢化率 39.3% (H30. 4. 1 現在)、平成 24 年 7 月九州北部豪雨では 1 世帯が孤立、314 人が避難。

### ■日時 6月10日(日) 午前9時から ※少雨決行

■場所 うきは市指定避難所の尼ヶ瀬区公民館（うきは市浮羽町妹川 2422-7）

■共催 妹川地区自治協議会、うきは市、消防団・消防署、警察署

■内容 避難訓練（9時に避難勧告発令後、防災無線・消防車で広報、住民はコミュニティセンターに避難）、防災ビデオ上映、防災講話（九州大学大学院准教授 広城吉成、九州大学大学院工学研究院 助教 西山浩司）、応急救護訓練（簡易担架作製、搬送）、土嚢作製ほか

### ●問い合わせ

うきは市市民協働推進課消防防災係Tel.0943-75-4982



▲ 土砂災害で道路寸断  
(平成 24 年 7 月九州北部豪雨・妹川地区持木)



▲ 昨年 6 月 18 日の避難訓練の様子

編集：うきは市総務課広報係 (Tel.0943-75-4980)

※FAX を手にとられた方は、「うきは市ホームページ」掲載のカラー版を御覧ください→検索

2018. 6. 5 発表／九州北部豪雨災害から 6 年を前に、被災地・妹川で「土砂災害避難訓練」